

創立 25 周年記念

稲門会と東村山



東村山稲門会

表紙の写真

上段左：全生園(青葉町)

* 2021 東村山市#007「東村山 5 0 景・東村山 5 0 景に準ずる風景」より
東村山市には、東京で唯一の国立ハンセン病療養所「多磨全生園」がある。ハンセン病は不治の病だと恐れられ、過酷な差別と国の強制隔離政策による筆舌に尽くしがたい苦痛を受けてきた入所者の方々は、故郷の山河や家族への思いを託し、萎えた手に力を込め、252種3万本の木々を植え、豊かな森へと育ててきた。平成21年(2009年)の開園100周年を機に、多磨全生園入所者自治会と市は、園の歴史、緑、建造物のすべてを「人権の森」、国民共有の財産として未来に受け継ぐことを宣言し、「いのちとこころの人権の森宣言」の碑を建立した。これらの活動によって、今や多くの市民の方々のオアシスとして親しまれ、また人権教育の場として、多磨全生園は守り続けられている。2021年7月13日、東京五輪の聖火リレーの「トーチキス」が当全生園にて行われた。

上段右：大隈講堂

下段：正福寺(野口町)

* 2021 東村山市#007「東村山 5 0 景・東村山 5 0 景に準ずる風景」より
北条時宗が鷹狩りの折病気になる、夢枕に黄衣をまとった地蔵菩薩が現れ丸薬をくれた。これを飲み、眠りから覚めたら病が治ったので、地蔵尊を信仰して、弘安元年(1278年)正福寺を開創したと寺伝にあります。しかし、昭和9年改修の際発見された墨書銘により、室町時代の応永14年(1407年)の建立とわかりました。鎌倉の円覚寺舍利殿とともに禅宗様建築の代表的遺構で、国宝建造物として名高いものです。なお、国の指定名称は正福寺地蔵堂ですが、堂内に奉納された小地蔵にちなみ、地元では正福寺千体地蔵堂とも呼ばれています。都内唯一の国宝木造建造物(都内には、国宝建造物としては迎賓館もある)。

会員紹介

各町会員紹介の概要	10
青葉町	11
秋津町	12
恩多町	14
諏訪町	15
久米川町	16
栄町	18
多摩湖町	20
野口町	22
萩山町	24
富士見町	26
本町	28
美住町	29
各地在住会員	30
廻田町	32
各町のポストパーソン紹介	33

同好会紹介

34

設立からの歩み

25年の歩み	36
設立までの経緯、設立総会	38
創立10周年記念、創立20周年記念	39
東村山稲門会ニュース創刊号発刊	40
東村山稲門会会報創刊号発刊	42
写真でみる25年	44

《年表》

歴代役員一覧	46
市民雑学講座開催一覧	48
新年会開催一覧	54
花見会開催一覧	55
旅行会開催一覧	56
納涼会・納涼バーベキュー会開催一覧	57
誕生会開催一覧	58
物故者名簿	59

東村山稲門会 会則

60

編集後記

63

目 次

頁

《巻頭言》 東村山稲門会 創立 25 周年を迎えて

会長

東村山稲門会
山本 岩男

1

東村山稲門会 創立 25 周年記念誌に寄せて

総長

早稲田大学
田中 愛治

2

東村山稲門会の皆様へ お祝いと感謝！

代表幹事

早稲田大学校友会
萬代 晃

3

東村山稲門会創立二十五周年記念に寄せて

市長

東村山市
渡部 尚

4

東村山稲門会創立 25 周年によせて

会長

東村山三田会
紘田 俊哉

5

「東村山稲門会」は堅固な土台を

第 2 代会長

東村山稲門会
山下 邦康

6

東村山稲門会の回想とお願い

第 3 代会長

東村山稲門会
三宅 良太

7

創立 25 年を振り返って

第 5 代会長

東村山稲門会
當間 昭治

8

稲門祭の贈りもの

第 6 代会長

東村山稲門会
大内 一男

9